

知ってる？ 2011年は国際コウモリ年、国際森林年！

旧は虫類館で飼育していたインドオコウモリ



コウモリ年について

国連(UN)は2011年と2012年を国際コウモリ年と宣言しました。コウモリはほ乳類で唯一完全な飛行ができる種で、全世界に1100種ほどおり、森林破壊などの脅威によりその半数が絶滅の危機にさらされています。日本にも約36種おり、その数は日本に棲んでいるほ乳類の種数の4分の1にもなります。札幌でも12種類のコウモリが確認されていて、夜になると動物園の敷地にも色々な種類のコウモリが飛んでいます。実はあなたの家の近くでもコウモリが飛んでいるのです。

札幌市内で保護されたコウモリ



森林年について

国連(UN)は2011年を「国際森林年」としました。国際森林年では、現在・未来の世代のため、この先も続けていける森林の経営、保全、そして開発について、いろいろな分野の人が考えていかなければならないとしています。現在、建物の建設や紙の原料とするために、多くの木々が伐採され、世界中で深刻な森林破壊が進んでいます。私たちの生活する日本は、国土の約68%を森林が占める森林大国です。この森林率は先進国の中では2番目になり、だからこそ、私たちはこの大切な森林を守っていかなければなりません。

コウモリを探すには

コウモリは人間の耳では聞き取ることのできない超音波を出しています。

バットディテクターという道具は、コウモリの出す高周波をキャッチする事が出来ます。森の中だけでなく、街中にもコウモリは生息しています。



動物園の森へ出かけよう

動物園の森は、天然記念物である円山原始林と動物園の境界部分に位置しています。

およそ50年前、この場所には、多くの在来種の草花や、ニホンザリガニやオオムラサキをはじめとした様々な生物が生息していました。円山動物園では、当時の身近な自然の復元を目指して、外来種の駆除等の活動に取り組んでいます。普段は自由に入ることのできない動物園の森ですが、ドキドキ体験メニュー「森の散策タイム」では、人数限定で動物園の森へのミニツアーを行っています。豊かな動植物を観察しに出かけてみましょう。

動物園の森
明治の頃植林された杉
がまだ残っています



動物園の森 天然林部分
巨木といえるほどの木
があります



円山川にも生息するニホンザリガニ



季節に合わせて華やかな花が咲きます



国蝶オオムラサキの幼虫はエゾエノキの葉を食べて成長します



森の中の止水ビオトープには様々な動物が集まります

森とコウモリと人

あなたとコウモリの関係ってありますか？あなたと森はどうでしょう？コウモリは見たことは無いし、森は大きすぎてよく分かりません。でも実は、人類が栽培する収穫植物のうち、授粉や種子分散の一部または全部をコウモリに依存している種は134種もあり、昆虫を食べて害虫駆除に役立っているコウモリもいます。森は温室効果ガスの吸収はもちろん、森林には陸上の生物種の約8割が生息・生育しており、森林の生態系は種・遺伝子の保管庫ともなっています。いろいろな生き物がいろいろな関係でつながって、バランスを保っているのがこの地球です。人間もその手をつないでいる相手のこと、もっと知っても良い頃だと思えます。